

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年B巡	単元	実習	教科名	2B_自動車検査1	
科目	自動車検査作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書		発行日	2026年4月1日
			法令教本			
総時限	24時限		法令JIGAKU		教科 担当	北岡 尚人
総時間	38.4時間		実習ノート			中川 徹也
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準及び自動車の車検整備の経験ある教員自動車検査基準に則った指導をする。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ① 自家用乗用自動車の法定2年点検が設定時間内に効率よく安全、確実に出来る。
- ② お客様対応の基本が設定時間内に出来る。
- ③ 消耗品交換作業が効率よく安全、確実に出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ① 自家用乗用自動車の法定2年点検が設定時間内に効率よく安全、確実に出来るようになる。
- ② 点検整備記録簿の作成が正確に出来るようになる。
- ③ お客様に対して整備結果説明がわかりやすく設定時間内に出来るようになる。
- ④ ブレーキの着脱、点検、調整作業が効率よく安全、確実に出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する。
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。

2) 出題試験項目

1. 実技試験

- ① 法定2年点検/点検整備記録簿の作成(不具合設定)
- ② サスペンション脱着
- ③ 法定2年点検/3車種点検記録簿作成。

2. 筆記試験

- ① 中間連絡の際、交換部品おすすめの仕方レポート
- ② MMS作成、整備料金表の作成。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
2年C巡2年点検の実習ノートを基に法定2年点検項目、お客様対応等を確認し復習する。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

